

研修便り



研修部
平成30年
7月9日
vol.6

思考を深める集団解決

先日の研修、ありがとうございました。児童の思考を深めるためには、どのような集団解決の方法があるのか、具体例を挙げてグループワークしていただきました。

今回の理論研修Ⅱを受けて、集団解決の具体例を簡単にまとめましたのでご覧ください。また、ぜひ話し合われた内容を参考に、ご自身の指導にも生かしていただければと思います。

基本(大切)

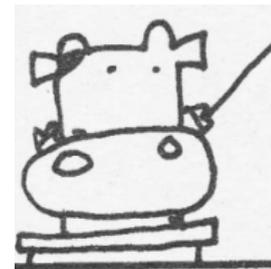
- ・ 一人一人が自分の考えをしっかりともつ。(個人思考に入る前の見通しの焦点化)
- ・ 大事な言葉は児童から。まとめの言葉は「板書の中」に。
- ・ 知識・技能を繋ぐ視点をもつ。(教師側)
- ・ 考えを広げる→比較する(自分の考えとどこが違う、なぜちがう)→深まる。
→教師が視点を絞る。
- ・ 多様な考え・方法の違い 知る→理解→深まる 質問できると、さらにいい!!
- ・ 児童が、考えに対して質問できるようにする。 →教師が手本を示す。
- ・ みんなで説明し合うこと!

教師側アプローチ

- ・ 誤答から学ぶ(どこが違うか、どうすればよいかを考え) 気づき、理解が深まる。
- ・ ゆさぶる(いじわるな問い返し、リアクションは薄く) →概念破壊!
- ・ 指名の順番を考えておく。

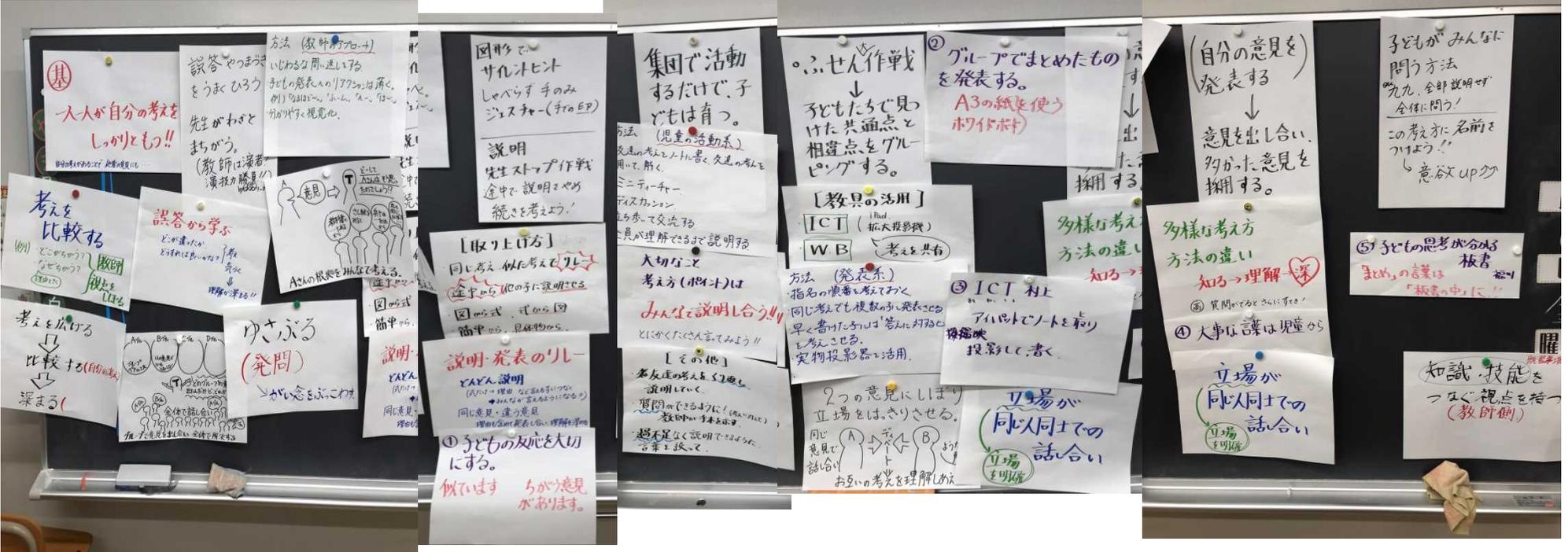
方法・伝え方・活動

- ・ しゃべらず、ジェスチャーで伝える。
- ・ 説明・発表のリレー 途中から他の子に説明させる(図から式、具体物から式 など)
- ・ 同じ考えでも複数の子。
- ・ 全員が理解できるまで説明。
- ・ ディベート(2つの意見にしぼり、立場をはっきりさせる。) →互いの意見を理解できる。
- ・ 友達の考えを繰り返し、説明していく。
- ・ グループで意見を出し合い、全体で解決。
- ・ Aさんの根拠をみんなで考える。
- ・ 立ち歩いて交流、ミニティーチャー
- ・ 早く終わった子は、「問題を解決するためのヒント」を考えさせる。



発表系

- ・ 同じ考え、バラバラ、グループでまとめたものをそれぞれ発表 (A3の紙、ホワイトボード)
- ・ 実物投影機に、児童のノートを映して説明。
- ・ タブレットで写真を撮って、TVに映す。



(基)
一人が自分の考えを
しっかりと!!

誤答やつまずきを
うまくひろく
先生がわざと
まちがう。
(教師は意図的
な誤答を誘う)

方法 (教師がプロ+)
いじわるな問をこらえる
子どもの発表へのリアクションは薄く、
例) "はいはい", "うん", "あー", "ほー"
のかけずく視覚化。

図形で
サレトビ
しべらす手のみ
ジスター(フラEP)

説明
先生ステップ作戦
途中で説明をやめ
続々と考えよう!

集団で活動
するだけで子
どもは育つ。
方法 (児童の活動系)
交流の考えをトビ書く
交流の考えを
書いて、解く。
ミニティーチャー
フェイスコン
タクトを変えて交流する
全員が理解できるように説明する

ふせん作戦
↓
子どもたちで見
つけた共通点と
相違点をグル
ーピングする。

② グループでまとめたもの
を発表する。
A3の紙を使う
ホワイトボード

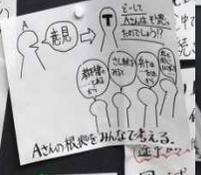
【教具の活用】
ICT (1台用 拡大投影機)
WB 考えを共有

(自分の意見を)
発表する
↓
意見を出し合い。
多様な意見を
採納する。

子どもがみんなに
問う方法
九九、全部説明せよ!
全員に問う!
この考え方に名前を
つけてみよう!
意味アップの

考えを
比較する
例) どの方法が? (教師)
なぜか? (児童)
例) どの方法が? (教師)
なぜか? (児童)

誤答から学ぶ
どの方法が? (教師)
なぜか? (児童)



【取り上げる】
同じ考え 似た考えを
途中から 他の子に説明せよ
図の式 式から図
簡中から 見極めよう

大切なのは
考え方(ポイント)は
みんな説明し合う
とにかくたくさん言ってみよう!!

方法 (発表系)
指名の順番を覚えておく
同じ考えでも複数の人が発表する
早く書けたら早く答えられる
と考えること。
実物投影器の活用。

③ ICT 利用
タブレットでノートと取り
揃え映
投影して書く

多様な考え方
方法の違い
知る→理解→深

⑤ 子どもの思考内容を
板書
みんなの言葉は
「板書の中に」

考えを広げる
↓
比較する(目的別)
↓
深まる!



ゆさぶる
(発問)
よからい念をぶこわす

説明・発表のルー
ティン
YAYAN 説明
(A) → 理由、なぜか? (B) → 理由、なぜか? (C) → 理由、なぜか?
同じ意見・違う意見
理由が通らない、理解が深まる

【その他】
お互いの考えをよく聴く
説明していく
疑問があるように (例) → 疑問、なぜか? (教師) → 説明、なぜか? (児童)
教師の手本を示す
超不足なく説明できるように
言葉を変えて

2つの意見にしぼり
立場をはきりさせる。
同じ意見 (A) → 理由、なぜか? (B) → 理由、なぜか?
話し合い
お互いの考えを理解しあふ

立場が
同じ同士での
話し合い
立場を明確

立場が
同じ同士での
話し合い
立場を明確

知識・技能を
一つひとつ視点を替えて
(教師側)